

高校地理プリント（過去問類似）  
地理総合（2025年～の共通テスト本試験）  
No.3

名前

得点

/9

問1 地震に伴う津波の襲来が想定される地域において、近くに高台がない平坦な土地や、高台への迅速な移動が困難な高齢者などの人々が一時的に緊急避難できるよう、浸水想定区域内の低地に建設される人工の避難施設を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 津波避難タワー                      2. 津波シェルター                      3. 津波避難ビル                      4. 津波避難マウンド

問2 1960年代半ばから1970年代半ばにかけての高度経済成長期において、日本の三大都市圏の沿岸部を中心に、大規模な用地整備が進められて急速に発達した、鉄鋼業や石油化学工業などに代表される工業部門の分類を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 加工組立型工業                      2. 生活関連型工業                      3. 基礎素材型工業                      4. 知識集約型工業

問3 日本の地方都市において、1980年代以降、自家用車の普及に伴って郊外への道路網整備が進み、人口集中地区の面積が拡大した一方で、地区内の人口密度が低下する現象が見られた。このような、自動車の普及が都市構造や人々の生活様式に大きな変化をもたらした現象を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. ジェントリフィケーション                      2. セグリゲーション                      3. サバーバニゼーション                      4. モータリゼーション

問4 近代日本の都市において、歩兵連隊や練兵場などが置かれていた土地は、第二次世界大戦後に公園や学校、公営住宅などへと広く転用された。このような、近代に陸海軍の施設や訓練場として使用されていた土地を総称して何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 軍用地                      2. 官有地                      3. 民有地                      4. 御料地

問5 日本の繊維・衣服産業の流通構造において、製造品出荷額は地方の産地に分散する一方、卸売販売額は特定の巨大都市に極めて高度に集中する特徴がある。この産業において、アパレル問屋や商社が集中し、東京都とともに卸売販売額の大部分を占める、近畿地方の府県はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 京都府                      2. 奈良県                      3. 大阪府                      4. 兵庫県

問6 南アメリカの標高が高い地域では、低温や乾燥に強い作物の栽培が伝統的に行われてきた。この地域が原産地であり、夜間の凍結と日中の乾燥を繰り返して保存食に加工されるなど、高地住民の主食として重要な役割を果たしてきた作物は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. キャッサバ                      2. サツマイモ                      3. ジャガイモ                      4. トウガラシ

問7 地方都市において、自動車の普及に伴う郊外化により人口集中地区の人口密度が低下し、行政コストの増大や中心市街地の衰退が課題となっている。これに対し、都市中心部や公共交通の沿線に商業施設や福祉施設、住宅などを集約させ、持続可能な都市運営を目指す都市政策の構想を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. スマートシティ                      2. テクノポリス                      3. コンパクトシティ                      4. ガーデンシティ

問8 日本付近で火山が噴火した際、放出された火山灰は火口から特定の方向へ広く流され、堆積しやすい傾向がある。これは、日本列島の上空において年間を通じて西から東へと吹いている、地球規模の恒常風の影響によるものである。この風の名称を何というか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. 偏西風                      2. 極東風                      3. 偏東風                      4. 貿易風

問9 ユーラシアプレートとインドプレートの衝突によって形成されたヒマラヤ山脈を擁するネパールでは、標高の高い山岳地帯において、山岳氷河による鋭い侵食谷が刻まれた険しい地形が広がっている。このような、中生代以降のプレート運動によって形成され、現在も地殻変動が活発で険しい山脈が連なる地帯を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 大地溝帯                      2. 新期造山帯                      3. 火山列島                      4. 古期造山帯

## 答え合わせ・解説 No.3

問1	<b>答え 1</b> <b>津波避難タワー</b>	津波発生時には高台などの安全な場所へ避難することが原則であるが、近くに高台がない平地や、移動に時間を要する避難行動要支援者が多い地域では、迅速な水平避難が困難な場合がある。このような地域において、一時的に垂直避難を行うために、浸水が想定される低地に人工的に建設される施設が津波避難タワーである。
問2	<b>答え 3</b> <b>基礎素材型工業</b>	1960年代半ばから1970年代半ばにかけての高度経済成長期、日本の三大都市圏の臨海部では、原材料の輸入や製品の輸出に便利な立地条件を活かして、鉄鋼や化学などの基礎素材型工業の基盤整備が集中的に進められた。これにより、臨海部を中心に工業用地の面積が大きく拡大した。1970年代後半以降になると、自動車や電子機器などの加工組立工業が成長し、工場が地方圏へ分散するようになった。
問3	<b>答え 4</b> <b>モータリゼーション</b>	地方都市では、自家用車の普及（モータリゼーション）が進んだことで、郊外の主要道路沿いに商業施設や住宅地が拡大した。これにより、人口集中地区（DID）の面積は拡大したものの、人口の伸びが追いつかなかったため、地区内の人口密度は低下し、都市の低密度化が進行した。
問4	<b>答え 1</b> <b>軍用地</b>	近代日本において、陸軍の連隊や練兵場、海軍の施設などが置かれていた土地は軍用地と呼ばれる。戦後、これらの広大な土地は国有地から地方自治体などに払い下げられ、豊橋公園（愛知県豊橋市）のような大規模な公園や、大学のキャンパス、団地などの公営住宅へと転用され、都市の近代化や復興に利用された。
問5	<b>答え 3</b> <b>大阪府</b>	繊維・衣服産業において、卸売販売額はアパレル商社や問屋が集中する東京都や大阪府に極めて高度に集中する。これに対し、製造品出荷額は地方の産地（北陸、東海、岡山など）に分散し、小売販売額は消費者の購買力や人口規模に応じて全国に広く分布する。
問6	<b>答え 3</b> <b>ジャガイモ</b>	南アメリカのアンデス高地はジャガイモの原産地であり、冷涼な気候を活かして古くから栽培されてきた。水分を抜いて長期保存を可能にした「チューニョ」と呼ばれる乾燥ジャガイモは、高地における貴重な食料源となっている。
問7	<b>答え 3</b> <b>コンパクトシティ</b>	モータリゼーションの進展による都市の低密度化（スプロール化）や中心市街地の空洞化に対処するため、公共交通機関の結節点や中心部に都市機能を集中させ、効率的な都市運営を図る「コンパクトシティ」の形成が各地で模索されている。
問8	<b>答え 1</b> <b>偏西風</b>	日本列島が位置する中緯度帯の上空には、年間を通じて西から東へと吹く強い風が存在する。このため、火山が噴火した際に放出される火山灰やガスは、火口から東側の地域へと運ばれやすく、ハザードマップ等でも東側に広く降下範囲が予測される。
問9	<b>答え 2</b> <b>新期造山帯</b>	ネパールが位置するヒマラヤ山脈周辺は、プレートの衝突によって形成された地域に属する。この地域では現在も隆起活動が活発であり、標高の高さから山岳氷河が発達し、鋭い侵食地形（U字谷やホルンなど）が形成されている。